

進め！山田町

復興ニュース

町の復興の様子（1月22日撮影）

山田町復興計画

地区別の説明会を開催

町では、12月22日に「山田町復興計画」を策定し、皆さんには広報やまた1月15日号とともに「復興計画のあらまし」を配布しました。今後は、この計画に基づき、復興への取り組みを進めていきます。

各地区ごとの土地利用計画の詳細は、これから詰めていくこととなります。その説明をしなから皆さんの意見をより詳細に知るため、1月23日から町中央



町中央公民館での説明会の様子

公民館小ホール、ふるさとセンター、浜川目集会所、織笠コミュニティセンター、船越防災センター、田の浜集会所、大浦漁村センターで説明会を開催しました。

説明会では、策定した地区ごとの計画を説明。計画の内容を聞きに来た町民からは活発な意見が出されました。主な質問内容は、浸水した地域での土地の買い上げや着工までに要する手順や期間のほか、防潮堤の工事の進捗状況など防災対策に対するものもありました。

今回の説明会に都合により参加できなかった方や、避難などで町外で暮らしている方は、役場復興推進課内の被災者相談支援センターで説明会の内容を確認することができます。また、豊間根、船越地区の被災者相談支援センター、各説明会場で計画図の閲覧ができます。どうぞご利用ください。

◆問い合わせ 町復興推進課計画係 ☎82-3111（内線342）へどうぞ。



テープカットを行い、復興へと歩み出しました

共同仮設店舗が完成 新たな出発を喜ぶ

12月22日、店舗や事務所、工場が共同入居する仮設店舗「山田町産業復興棟」の合同開所式が行われ、商工業が復興に向けた第一歩を踏み出す新たな出発を喜びました。

第1号として完成した八幡町の店舗には、理容室、美容室、不動産仲介業の事務所など、5店舗が入居。各地区でも工場などの操業が始まりました。この仮設店舗は、独立行政法人中小企業基盤整備機構が町の要請に基づき建設しているもので、今後約30数力所の整備を予定しています。

誘致企業が入社式

造船の技術を磨き 町の復興を手助け



復興への決意を誓いました

町に造船工場を新設するツネイシホールディングスグループの株式会社ティーエフシー（資本金300万円、神原潤社長）は1月10日、山田町商工会で入社式と造船技能者第一期研修

生出発式を行いました。式では、沼崎喜一町長が「若い世代が町外に出て復興の道のりは厳しい状況です。5人の半年間は町にとっても復興への大きな道しるべとなります。頑張ってください」と激励。採用された5人は、決意を胸に半年間の研修を行うため広島県へ出発しました。5人は、広島県尾道市の関連会社の工場ではアルミ製造船に関する技術や知識を学び、その後大沢地区に建設される造船工場で実践研修を行う予定です。